



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 早河 洋  
問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 齊藤 芳徳 TEL 03-6406-1115  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	77,586	8.4	4,763	28.5	7,350	23.6	5,223	21.6
2024年3月期第1四半期	71,589	△0.8	3,707	△30.2	5,949	△21.4	4,295	△18.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 10,864百万円(△0.2%) 2024年3月期第1四半期 10,890百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	51	41	—	—
2024年3月期第1四半期	42	27	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	527,098	81.3	430,212	81.3	430,212	81.3
2024年3月期	520,432	81.0	423,577	81.0	423,577	81.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 428,273百万円 2024年3月期 421,751百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期 期末配当金40円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	309,000	0.4	13,000	5.4	20,000	0.4	18,000	5.0	177	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	108,529,000株	2024年3月期	108,529,000株
2025年3月期1Q	6,912,696株	2024年3月期	6,912,696株
2025年3月期1Q	101,616,304株	2024年3月期1Q	101,602,604株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2024年8月2日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復を続けています。

テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期と同水準となりました。

このような経済状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は775億8千6百万円（前年同期比+8.4%）となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が728億2千2百万円（同+7.3%）となりました結果、営業利益は47億6千3百万円（同+28.5%）となりました。また、経常利益は73億5千万円（同+23.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億2千3百万円（同+21.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動における固定費削減傾向が継続しているものの、レギュラー番組のセールスについては前年同期と同水準を維持しました。一方で、単発番組につきましては「サッカーAFC U23アジアカップ パリ五輪アジア最終予選」や「バスケットボール男子パリ五輪直前強化試合 日本×オーストラリア」などのセールスにより増収となりました。以上の結果、タイム収入合計は188億8百万円（前年同期比+1.6%）となりました。

スポット収入は、「趣味・スポーツ用品」「外食・各種サービス」「金融・保険」などが減収となりましたが、「化粧品・トイレットリー」「食品」「自動車・関連品」が好調であったため、前年同期と同水準となりました。以上の結果、スポット収入は220億円（同+0.2%）となりました。

また、BS・CS収入は63億7千4百万円（同△3.7%）、番組販売収入は海外向けアニメ販売が好調であったことから38億4千2百万円（同+17.4%）、その他収入は52億8千1百万円（同+12.1%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は563億7百万円（同+2.2%）、営業費用は536億7千万円（同+1.4%）となりました結果、営業利益は26億3千6百万円（同+21.7%）となりました。

#### ②インターネット事業

無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売が好調に推移したことなどにより、インターネット事業の売上高は65億3千6百万円（前年同期比+7.1%）、営業費用は59億4千3百万円（同+2.0%）となりました結果、営業利益は5億9千2百万円（同+113.6%）となりました。

#### ③ショッピング事業

通販番組「じゅん散歩」が引き続き好調に推移したことや、通販特番「通販をスクープしてみた!!」や「今田耕司の買うならイマダ『おかんと通販してみた!』」が好評を博したことなどにより、ショッピング事業の売上高は49億1千万円（前年同期比+13.1%）、営業費用は44億8千9百万円（同+11.3%）となりました結果、営業利益は4億2千1百万円（同+37.2%）となりました。

#### ④その他事業

音楽出版事業は所属アーティストの「ケツメイシ」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、イベント事業は「The Performance」「EIGHT-JAM FES」を開催したことなどにより増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は133億1千2百万円（前年同期比+42.5%）、営業費用は121億7千万円（同+46.3%）となりました結果、営業利益は11億4千2百万円（同+12.1%）となりました。

報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	55,084	56,307	2.2%
インターネット事業	6,105	6,536	7.1%
ショッピング事業	4,342	4,910	13.1%
その他事業	9,339	13,312	42.5%
調整額	△3,281	△3,480	—
合計	71,589	77,586	8.4%

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	2,166	2,636	21.7%
インターネット事業	277	592	113.6%
ショッピング事業	307	421	37.2%
その他事業	1,019	1,142	12.1%
調整額	△62	△29	—
合計	3,707	4,763	28.5%

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比66億6千5百万円増の5,270億9千8百万円となりました。これは、現金及び預金が281億2千万円減少したものの、有価証券が149億9千8百万円、建設仮勘定などの増加により有形固定資産の「その他（純額）」が122億6千7百万円、投資有価証券が79億6千5百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比3千1百万円増の968億8千6百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比66億3千4百万円増の4,302億1千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,126	19,006
受取手形及び売掛金	84,029	80,666
有価証券	23,898	38,896
棚卸資産	10,227	11,712
その他	10,094	11,251
貸倒引当金	△76	△73
流動資産合計	175,300	161,459
固定資産		
有形固定資産		
土地	64,664	64,664
その他(純額)	54,977	67,244
有形固定資産合計	119,641	131,909
無形固定資産		
その他	4,863	4,771
無形固定資産合計	4,863	4,771
投資その他の資産		
投資有価証券	202,158	210,124
その他	19,012	19,303
貸倒引当金	△545	△470
投資その他の資産合計	220,626	228,957
固定資産合計	345,131	365,638
資産合計	520,432	527,098
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,537	8,867
その他	59,671	57,678
流動負債合計	68,208	66,545
固定負債		
退職給付に係る負債	10,374	10,182
その他	18,271	20,157
固定負債合計	28,646	30,340
負債合計	96,855	96,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,699	36,699
資本剰余金	70,494	70,494
利益剰余金	284,581	285,575
自己株式	△13,598	△13,598
株主資本合計	378,175	379,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,025	44,943
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	1,703	2,299
退職給付に係る調整累計額	1,846	1,861
その他の包括利益累計額合計	43,576	49,104
非支配株主持分	1,825	1,938
純資産合計	423,577	430,212
負債純資産合計	520,432	527,098

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	71,589	77,586
売上原価	52,472	57,195
売上総利益	19,117	20,390
販売費及び一般管理費	15,409	15,626
営業利益	3,707	4,763
営業外収益		
受取配当金	689	685
持分法による投資利益	1,473	1,640
その他	104	299
営業外収益合計	2,267	2,625
営業外費用		
固定資産廃棄損	6	22
その他	19	16
営業外費用合計	26	38
経常利益	5,949	7,350
特別利益		
投資有価証券売却益	255	—
特別利益合計	255	—
税金等調整前四半期純利益	6,204	7,350
法人税等	1,851	2,014
四半期純利益	4,353	5,336
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,295	5,223

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	4,353	5,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,897	4,547
為替換算調整勘定	5	62
退職給付に係る調整額	126	21
持分法適用会社に対する持分相当額	1,507	895
その他の包括利益合計	6,537	5,528
四半期包括利益	10,890	10,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,832	10,752
非支配株主に係る四半期包括利益	58	112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	54,442	5,576	4,341	7,229	71,589	—	71,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	642	528	1	2,109	3,281	△3,281	—
計	55,084	6,105	4,342	9,339	74,871	△3,281	71,589
セグメント利益	2,166	277	307	1,019	3,770	△62	3,707

(注) 1 セグメント利益の調整額△62百万円は、セグメント間取引消去△38百万円、当社における子会社からの収入514百万円及び全社費用△539百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	55,640	6,134	4,834	10,976	77,586	—	77,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	666	401	76	2,335	3,480	△3,480	—
計	56,307	6,536	4,910	13,312	81,066	△3,480	77,586
セグメント利益	2,636	592	421	1,142	4,793	△29	4,763

(注) 1 セグメント利益の調整額△29百万円は、セグメント間取引消去△17百万円、当社における子会社からの収入514百万円及び全社費用△526百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,472百万円	2,381百万円
のれんの償却額	69百万円	一百万円